

ねんりん新聞

令和8年度 春号

受け継がれる桜の記憶 ～春の光に包まれた～

八戸の厳しい冬を越え、今年も待ちに待った春がやってきました。
 今号では、当施設にとって少し寂しくも、温かな光景となった「桜」の物語をお届けします。
 当施設が設立した当初、平成4年に植樹された庭の桜の木。30年以上の長きにわたり、私たちが癒してくれたその木をこの度、やむを得ず伐採することとなりました。寂しさが募りますが、最後は、その枝を大切に切り分け、施設内でかざることに。すると、皆様の愛情に応えるかのように、切り枝から見事な花が咲き誇りました。「最後まできれいだねえ」と桜を囲んで写真を撮りました。「今までありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいです。



交流の場、広がる笑顔 今期の「お楽しみ喫茶店」

月一度の「お楽しみ喫茶店」甘酒、コーヒー、昆布茶、手作りおやつを前に、多くの皆様で賑わっています。

今期、特に好評だったのが「きなこ餅風」おやつです。他にも、アツアツの「たこ焼き」やあんこの甘さとバターが絶妙な「あんバターパン」など、バラエティ豊かなメニューが皆様の目と舌を楽しませてくれました。



感謝の歌声と手作りスイーツ

「ズンドコ節」の賑やかな幕開けで始まった母の日イベント。職員による「いつでも夢を」の歌唱や全員での「ふるさと」の合唱が食堂に響きました。食事で特別メニューのねばねば丼・カステラケーキをご用意しました！ささやかではありますが、皆様の笑顔が見られた素敵な一日となりました。



「お花見ドライブ」を開催！

4月15日最高のタイミングでお花見ドライブに行ってきました。
 八戸にあるさまざま桜並木に、心踊るひとときを過ごしました。



ひとこと

今期も喫茶店やイベントへのご参加ありがとうございました。
 皆様と一緒に作り上げるこの新聞が日々の楽しみのひとつになれば嬉しいです。次号もお楽しみに!!